

整理番号	28-17	事務事業名	自転車駐車場管理事業		作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	齊藤順二	課長職名	高橋 孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	北広島市自転車駐車場条例、同条例施行規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	駅周辺における放置自転車の防止							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	市街地整備	(第1節)
	施策	駅周辺まちづくり	(第4施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	自転車利用者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺の良好な環境保持のため、自転車駐車場の適切な管理運営により、自転車の利用促進を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	駅の東・西自転車駐車場の管理を委託。指定場所以外に駐車している自転車の整理や周辺の清掃・除草を実施。駐車場閉鎖後(冬期)に駐車している自転車の処理。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,723	1,759	1,699	1,800
	合計	1,723	1,759	1,699	1,800
人件費(概算)	人数(年間)	0.1	0.1	0.1	0.1
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		2,623	2,659	2,599	2,700

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	収容台数 1,384台				
	日平均利用台数	1,176台	1,195台	1,218台	1,245台
	延べ利用台数(245日)	288,120台	292,775台	298,410台	305,025台
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)					
	日平均利用台数÷収容台数	利用率 85%	利用率 86%	利用率 88%	利用率 90%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					
	総事業費÷延べ利用台数	9.1円/台	9.1円/台	8.7円/台	8.9円/台

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	国内の自転車保有台数は、平成13年度現在6千500万台で、年々増加の傾向となっている。したがって、今後も自転車駐車場の利用台数が増加することが予想される。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	自転車による通勤通学者の利便性の確保や駅周辺の良い環境保持には、行政の関与は必要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	利用率が86%を越えている状況であることから、目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	目的達成手段としての自転車駐車場は、妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	駐車場の利用促進の妨げとなることから、現時点では受益者負担はすべきではない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	放置自転車は、ほとんどみられないため、十分成果は上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	自転車整理業務については、業務委託しており、手法は効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	今後も、駐車場の利用促進を進め、放置自転車の防止に努めていく。駅東口自転車駐車場については、札幌恵庭自転車道線の開通により、今後も利用台数の増加が予想されることから、新たな駐車場確保などの検討をする必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	駅東口自転車駐車場については、札幌恵庭自転車道線の開通により、今後利用台数の増加が予想されることから、当面その動向を注視していく。